取扱説明書

audio-technica

デジタルワイヤレストランスミッター

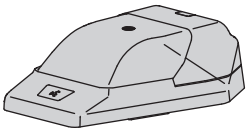
ATW-T1006J
ATW-T1007J

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

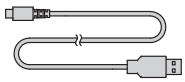
同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口までご連絡ください。

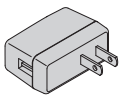
ATW-T1006J



●ワイヤレスバウンダリーマイクロホン (ATW-T1006J)



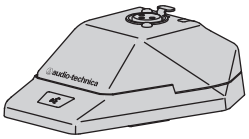
●充電用 USB ケーブル (150cm)



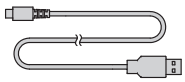
●AC アダプター (USB タイプ)

●取扱説明書 (本書)
●保証書

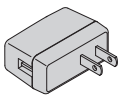
ATW-T1007J



●ワイヤレスマイクスタンド (ATW-T1007J)



●充電用 USB ケーブル (150cm)



●AC アダプター (USB タイプ)

●取扱説明書 (本書)
●保証書

＊本製品を運用するには別売の当社レシーバー(ATW-R1100J または ATW-RC13J/ATW-RU13J)が必要です。また、ATW-T1007J を運用するには別売の当社グースネックマイクロホン(出力コネクター：XLR-M 3PIN)が必要です。

目次

安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・2～3ページ
使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・4ページ
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・5ページ
TALK 表示 LED/ 電源 LED の表示について・・・6ページ
充電のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・7ページ
接続のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・8ページ
使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ページ
本製品を上手に運用するためのポイント・・・・10ページ
外形寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・10ページ
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・11ページ
テクニカルデータ・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
●本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。
医療機関の屋内では使用しないでください。
●指定の AC アダプター以外は使用しない
事故や火災の原因になります。
●異常に気づいたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐに使用を中止して、
お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
●本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
●布で覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。
●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

⚠注意

●不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
●火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。

AC アダプターについて

⚠警告

●AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)
過熱による火災など事故の原因になります。
●本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜き
お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
●コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
●分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
●布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。

⚠注意

●長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。
●足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。
●通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。

充電式電池について

本製品は、充電式電池 (リチウムイオン電池) を内蔵しています。

⚠ 危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●以下の場所で使用、放置、保管しない
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
■炎天下の車内
■ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
■液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
■万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
■皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
●付属の AC アダプター以外で充電しない
故障や火災の原因になります。

⚠ 注意

●機器を使用したあとは必ず電源を切る
液漏れの多くは、電源の切り忘れによる電池の消耗が原因です。

■本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。
本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。
なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。
〇送り先
〒915-0003　福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ　二次電池回収担当　宛
TEL : 0778-25-6736 (電池回収専用)

■内蔵充電式電池の交換のしかた

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。
内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。
〇サービスセンター　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）

使用上の注意

本体について

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●本製品の近くに発信機(携帯電話など)があるとノイズが入る場合がありますので離してご使用ください。
●汚れたときは USB ケーブルを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
●長期間使用しないときでも、内蔵充電式電池を保護するため、半年に 1 度は充電を行うようにしてください。
放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなる恐れがあります。
●本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(5 ～ 35℃)で充電してください。
電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、または充電ができなくなります。
また、上記温度範囲以外で充電すると、電源 LED が赤点灯しても充電しない場合があります。

ワイヤレス機器について

本製品は 2.4GHz の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、
下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許が必要)、特定小電力無線局 (免許が不要)、およびアマチュア無線局 (免許が必要) が運用されています。

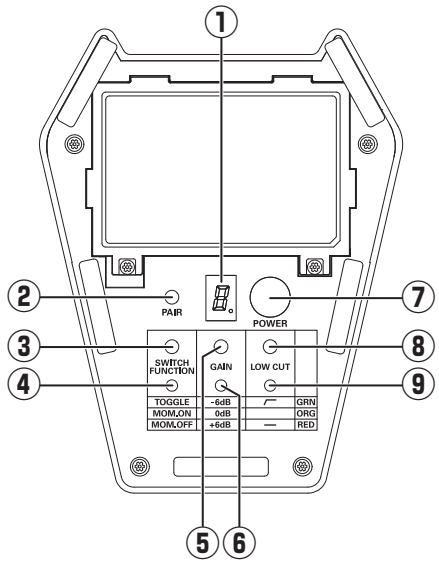
1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかにレシーバー、およびトランスミッターの電源を切ってください。
そのうえでお客様相談窓口 (→裏表紙) にご連絡いただき、混信回避のための処置 (例えばパーティションの設置など) についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社お客様相談窓口 (→裏表紙) までお問い合わせください。

●本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。無線局の免許は必要ありません。
●以下の行為は、法律で禁じられています。
- 分解や改造を行う
- 本体に貼付の工事設計認証ラベル (㊣ マークを含むラベル) をはがす

●本体の表示について
2.4XX8 この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式はその他の方式、与干渉距離が 80m 以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能を表わします。
●本製品とレシーバーの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
●ほかの機器との影響①
Bluetooth 搭載機器、無線 LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉し合う機器同士は離して設置してください。
●ほかの機器との影響②
お使いになる環境の電波使用状況によって、同時使用の最大本数が減る場合やペアリングするまでの時間が長くなる場合があります。

各部の名称

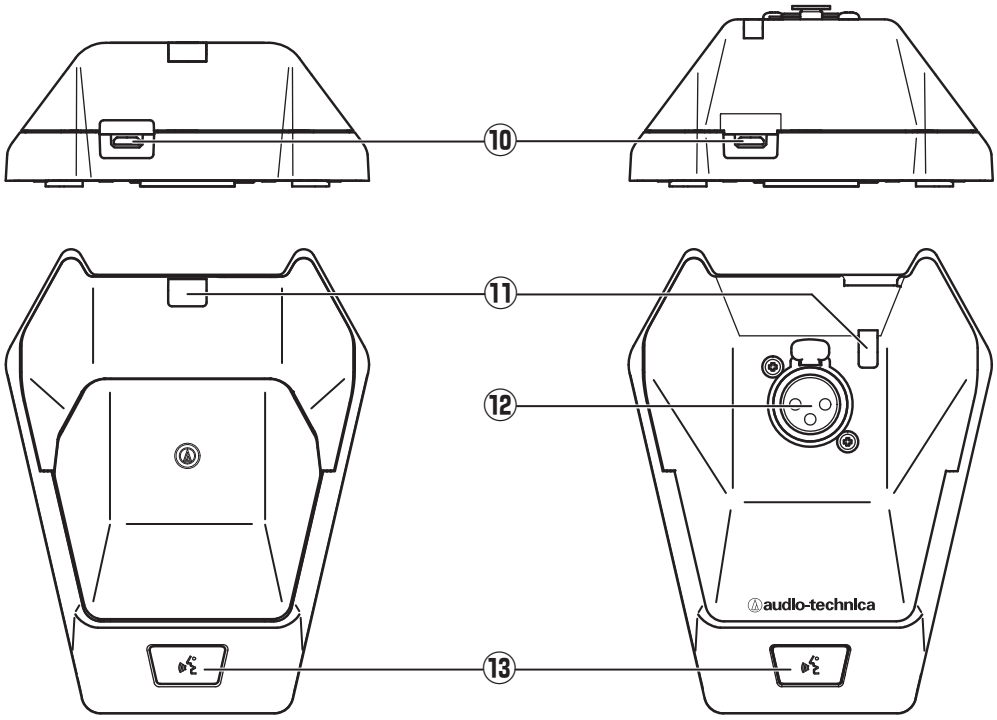
ATW-T1006J/ATW-T1007J 共通部 (底面)



①システム ID 表示部
②ペアリングボタン
③スイッチファンクションボタン
④スイッチファンクション LED
⑤ゲインボタン
⑥ゲイン LED
⑦電源ボタン
⑧ローカットボタン
⑨ローカット LED

ATW-T1006J

ATW-T1007J



⑩充電端子(マイクロ USB タイプ)
⑪電源 LED
⑫バランス入力端子
⑬TALK ボタン/TALK 表示 LED

入力端子
＊形状はXLR-Fです。

PIN1：GND
PIN2：HOT
PIN3：COLD

TALK 表示 LED/電源 LED の表示について

TALK 表示 LED/電源 LED の表示は、スタンダードモードとカンファレンスモードの 2 通りの表示モードがあります。お好みでモードを切り替えてください。

＊工場出荷時は、スタンダードモードに設定されています。

●表示モード切り替え方法

電源を切った状態で、スイッチファンクションボタンを押しながら電源ボタンを長押しし電源を ON します。表示モードが切り替わり、システム ID 表示部に現在のモードを表す文字が表示されます。

＊表示文字　A：スタンダードモード　（赤、緑で表示）
＊表示文字　C：カンファレンスモード（ペアリングと充電以外を赤のみで表示）

TALK 表示 LED/電源 LED の表示は、下記の動作状態を意味しています。

スタンダードモード

●電源 ON の状態

LED 表示パターン					●赤　●緑
名称		TALK 表示 LED		電源 LED	
ペアリング	通信待機中	●●●●●●●●●●●●●…	点滅	●●●●●●●●●●●●●●…	点滅
スイッチファンクション設定	TOGGLE	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
	MOM.ON	●●●●●●●●●●●●●●…		●●●●●●●●●●●●●●…	
	MOM.OFF	●●●●●●●●●●●●●●…		●●●●●●●●●●●●●●…	
ミュート	オン	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
	オフ	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
電池残量	約10%以下（ミュートオン）	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅
	約10%以下（ミュートオフ）	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅

●電源 OFF の状態（電源 ON の状態で充電した場合、LED に変化はありません）

充 電	充電中	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
	満充電	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯

カンファレンスモード

●電源 ON の状態

LED 表示パターン					●赤　●緑
名称		TALK 表示 LED		電源 LED	
ペアリング	通信待機中	●●●●●●●●●●●●●●…	点滅	●●●●●●●●●●●●●●…	点滅
スイッチファンクション設定	TOGGLE	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
	MOM.ON	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯
	MOM.OFF	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
ミュート	オン	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯
	オフ	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
電池残量	約10%以下（ミュートオン）	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅
	約10%以下（ミュートオフ）	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅	●－－●－－●－－●－－●－－…	点滅

●電源 OFF の状態（電源 ON の状態で充電した場合、LED に変化はありません）

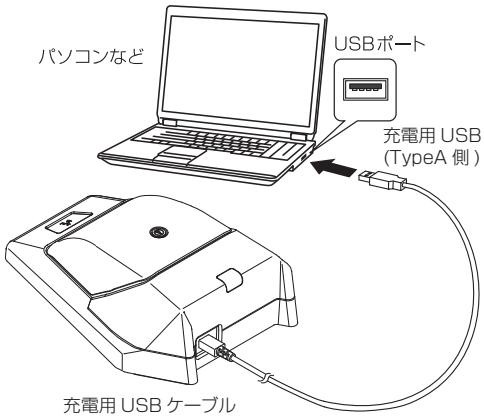
充 電	充電中	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯
	満充電	－－－－－－－－－－－－－－－…	消灯	●●●●●●●●●●●●●●…	点灯

充電のしかた

本製品は充電中でも使用可能です。
TALK 表示 LED/電源 LED に関しての詳細は P.6「TALK 表示 LED/電源 LED の表示について」を参照してください。

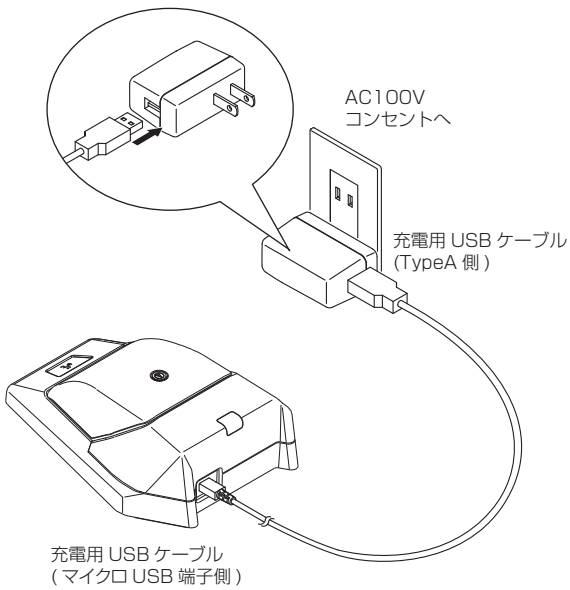
①本製品の電源を切り、付属の充電用 USB ケーブルで接続します。

●パソコンなどの USB ポートを使用する場合



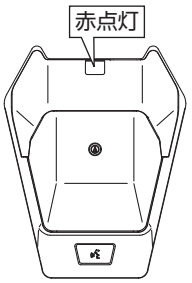
●AC アダプターを使用する場合

付属の AC アダプターと充電用USBケーブルを接続します。

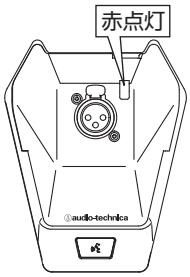


②充電中は電源 LED が赤点灯します。

●ATW-T1006J の場合

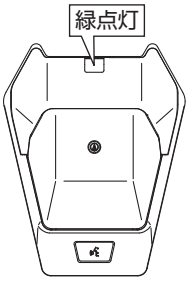


●ATW-T1007J の場合

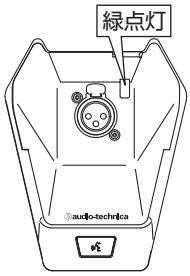


③充電が完了すると電源 LED が緑点灯に変わります。(約 4.5 時間)

●ATW-T1006J の場合



●ATW-T1007J の場合

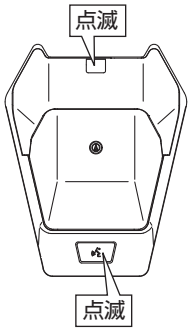


＊電源が ON の状態で充電した場合、電源 LED は変化しません。
＊空の状態から 2 時間の充電で約 90% の充電が完了します。

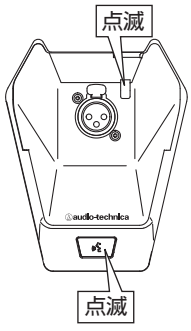
電池残量について

電池残量が約10%以下になると、電源LEDとTALK表示LEDが点滅します。

●ATW-T1006J の場合



●ATW-T1007J の場合



電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

接続のしかた

グースネックマイクロホンの取り付け / 取り外し

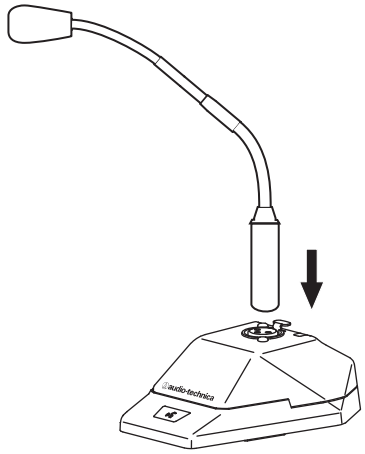
ATW-T1007J を使用する場合、グースネックマイクロホンを取り付ける必要があります。

＊出力コネクターが XLR-M 3PIN のグースネックマイクロホンを用意してください。

＊マイクバイアス電圧が DC +48V のグースネックマイクロホンは動作保証外です。

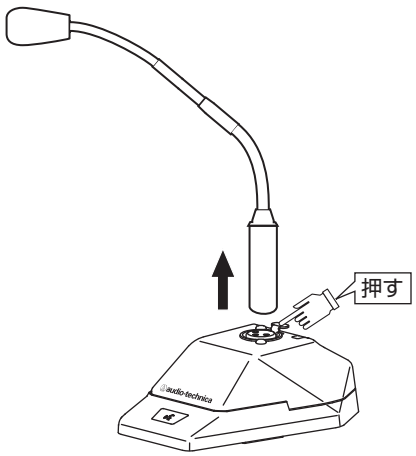
●グースネックマイクロホンを取り付ける場合

バランス入力端子にグースネックマイクロホンを差し込みます。



●グースネックマイクロホンを取り外す場合

「PUSH」と表示された場所を押しながら、グースネックマイクロホンを取り外します。



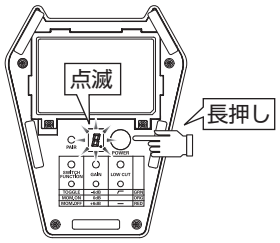
ペアリングのしかた

別売の当社レシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。

①レシーバーにて任意の ID 番号を選択します。

②レシーバーをペアリング待機状態にします。

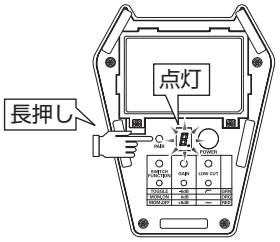
③本製品の電源ボタンを長押しします。



システム ID 表示部が点滅します。

④本製品のペアリングボタンを長押しします。

＊システム ID 表示部が高速点滅へと変わります。



システム ID 表示部の ID がレシーバーと一致し、点滅から点灯に変わります。

＊本状態にならなかった場合は、もう一度①の動作からやり直してください。

複数システムの同時使用について

複数のシステムを同時にご使用の際は、各々異なったシステム ID に設定してください。

＊同じ ID のシステムを同時に使用しても混信することはありませんが、識別のために異なる ID に設定することをおすすめします。

使いかた

TALK表示LED/電源LEDに関しての詳細はP.6「TALK表示LED/電源LEDの表示について」を参照してください。

電源について

電源ボタンを長押しすると、電源の ON/OFF が切り替わります。

電源を ON にすると、底面の LED が点灯しシステム ID 表示部が青点灯します。

＊約 30 秒間底面のボタンが押されないと、自動的にシステム ID 表示部と底面の LED が消灯します。
消灯時、底面のいずれかのボタンを押すと再点灯します。

ミュート (消音) のしかた

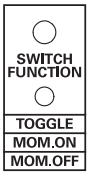
本製品はミュート設定が 3 通りあります。
ご使用に合わせて設定を切り替えてください。

■ミュート設定切り替え方法

スイッチファンクションボタンを押すと、設定が切り替わります。

スイッチファンクション LED が現在の設定を表示しています。

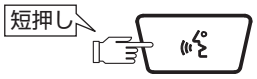
●緑　　:「TOGGLE」
●オレンジ:「MOM.ON」
●赤　　:「MOM.OFF」



＊工場出荷時は、「TOGGLE」に設定されています。

●ミュート設定：「TOGGLE」の場合

①TALK ボタンを短押しするとミュート状態になります。



②もう一度、TALK ボタンを短押しするとミュート状態が解除されます。

●ミュート設定：「MOM.ON」の場合

①通常状態でミュート状態となります。

②TALK ボタンを押している間のみミュート状態が解除されます。

●ミュート設定：「MOM.OFF」の場合

①TALK ボタンを押している間のみミュート状態になります。

②TALK ボタンを離すとミュート状態が解除されます。

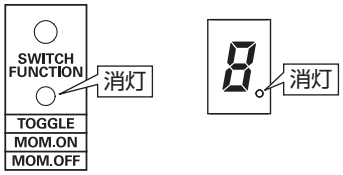
＊TALK ボタンは静電容量式のため、ペン先や手袋をした手では反応しません。

ミュートロックモード

ミュート操作を無効にすることができます。

■設定のしかた

電源を切った状態で、ペアリングボタンを押しながら電源ボタンを長押しし電源を ON します。



ミュートロック設定が切り替わり、ミュートロック時はスイッチファンクション LED とシステム ID 表示部の「.」(ドット)が消灯します。

ゲインについて

話者の声の大きさや設置場所によりゲイン設定を変更します。

■ゲイン設定切り替え方法

ゲインボタンを押すと、設定が切り替わります。

ゲイン LED が現在の設定を表示しています。

●緑　　:「−6dB」
●オレンジ:「0dB」
●赤　　:「+6dB」

＊工場出荷時は、「0dB」に設定されています。

ローカットについて

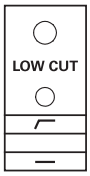
テーブル振動やエアコンなどの低周波ノイズを抑えたい場合に使用します。

■ローカット設定切り替え方法

ローカットボタンを押すと、設定が切り替わります。

ローカット LED が現在の設定を表示しています。

●緑：「ローカット ON」
●赤：「ローカット OFF」



＊工場出荷時は、「ローカット OFF」に設定されています。

設定のリセット

電源ボタンとローカットボタンを同時に長押し(約２秒)すると、工場出荷時の設定にリセットします。

＊ペアリング設定と ID 設定はリセットされません。

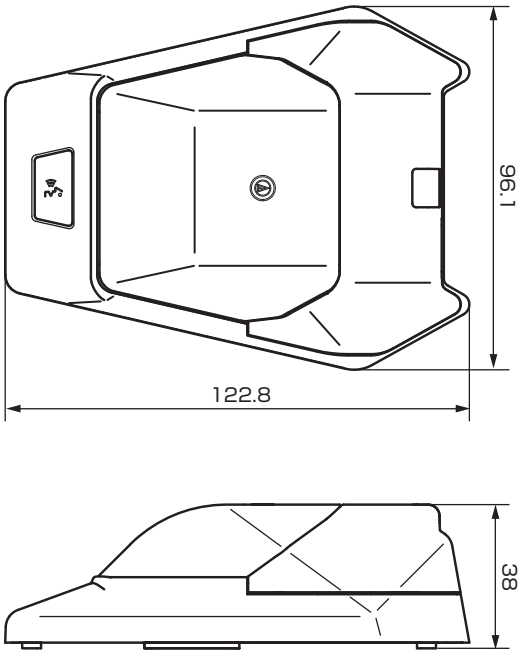
本製品を上手に運用するためのポイント

●本製品やレシーバーを長時間連続で使用する場合は、使用する前に満充電にしてください。
●本製品とレシーバーの間にはできるだけ障害物がないように設置してください。
●本製品とレシーバーの距離は近くなるように設置してください。
＊本製品とレシーバーの距離が 2m 未満では使用しないでください。
●ほかのデジタル機器からできるだけ離してください。特に Wi-Fi ルーターなどの 2.4GHz 帯無線機器は本製品とレシーバーから 10m 以上離して設置してください。
●レシーバーのアンテナは、できるだけ金属物から離して設置してください。
●本製品のゲインを調整し、レシーバーのピークインジケーターが点灯しないよう設定してください。
＊接続する外部機器に対して入力が大きすぎると、音割れや歪みが発生します。
逆に入力が小さすぎると S/N が悪くなり、ノイズが発生しやすくなります。
●本製品やレシーバーを使用しない場合は電源を切ってください。

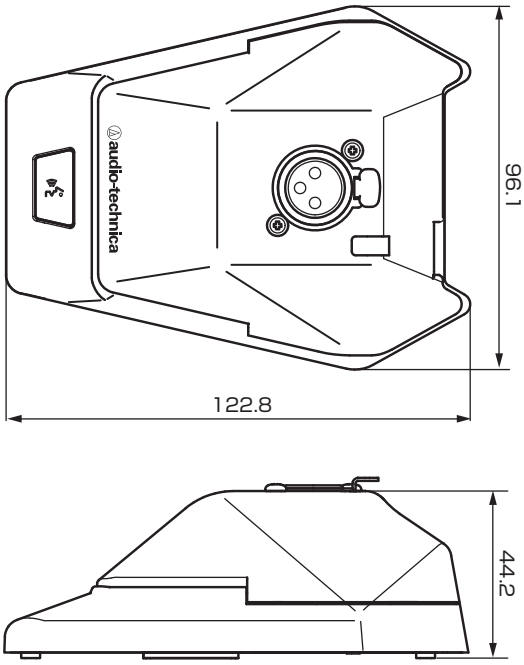
外形寸法図

（単位：mm）

ATW-T1006J



ATW-T1007J



故障かな？と思ったら

本製品の電源がすぐ切れてしまう

・LED が点滅していませんか？
→ 充電式電池が消耗している可能性があります。
充電してください。

P.7 の「充電のしかた」を参照してください。

音が割れる

・ゲイン設定が適切ですか？
→ ゲインボタンで、設定を切り替えてください。

P.9 の「使いかた」を参照してください。

本製品とレシーバーが通信しない

・本製品とレシーバーの ID 番号は一致していますか？
→ ペアリングをやり直してください。

P.8 の「接続のしかた」を参照してください。

・レシーバーがほかのトランスミッターと通信していませんか？
→ 使用していないトランスミッターの電源はオフにしてください。

動作が変わってしまった

・設定が変わってしまった可能性があります。
→ 設定の見直し、またはリセットをお試しください。

P.9 の「使いかた」を参照してください。

音声が出ない、または音声が小さい

本製品の確認

・電源が OFF になっていませんか？
→ 電源を ON にしてください。
・ミュート状態になっていませんか？
→ ミュート状態を解除してください。

P.9 の「使いかた」を参照してください。

・本製品とレシーバーの ID 番号は一致していますか？
→ ペアリングをやり直してください。

P.8 の「接続のしかた」を参照してください。

レシーバーの確認

・接続機器のコードが外れていませんか？
・レシーバーの受信インジケーターが点灯していますか？
→ ペアリングが完了していない可能性があります。
もう一度、ペアリングを行ってください。

P.8 の「接続のしかた」を参照してください。
レシーバーの取扱説明書を参照してください。

外部機器の確認

・レシーバーからのコードが外れていませんか？
・接続機器のボリュームが最小になっていませんか？

外部機器の取扱説明書を参照してください。

テクニカルデータ

ワイヤレスバウンダリーマイクロホン　ATW-T1006J

型式	：バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	：半球前方指向性
周波数特性	：20 ～ 20,000Hz
ローカット	：80Hz、18dB/oct
オーディオサンプリング	：24bit、48kHz サンプリング
送信出力	：10mW
内蔵電池	：3.7V 専用リチウムイオン電池
動作時間	：9 時間*1
動作温度範囲	：0 ～ 40℃
充電時間	：4 時間 30 分*1
充電温度範囲	：5 ～ 35℃
外形寸法	：H38×W96.1×D122.8mm
質量	：約 408g
付属品	：AC アダプター　AD-SR0505A0（USB タイプ）、充電用 USB ケーブル（150cm）

ワイヤレスマイクスタンド　ATW-T1007J

入力端子	：XLR-F 3PIN
入力インピーダンス	：約 1.4kΩ
周波数特性	：20 ～ 20,000Hz
ローカット	：80Hz、18dB/oct
オーディオサンプリング	：24bit、48kHz サンプリング
マイクバイアス電圧	：DC +12V*2
送信出力	：10mW
内蔵電池	：3.7V 専用リチウムイオン電池
動作時間	：9 時間*1
動作温度範囲	：0 ～ 40℃
充電時間	：4 時間 30 分*1
充電温度範囲	：5 ～ 35℃
外形寸法	：H44.2×W96.1×D122.8mm
質量	：約 392g
付属品	：AC アダプター　AD-SR0505A0（USB タイプ）、充電用 USB ケーブル（150cm）

＊1：使用条件により異なります。
＊2：DC +48V は動作保証外です。

改良などのため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ先（電話受付 / 平日9：00～17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた）　0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター（修理・部品）　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ（サポート）
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

修理について
本製品の修理をご依頼される際は、本製品とレシーバーの両方をお預けください。

アフターサービスについて
本製品を、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬 2-46-1
http://www.audio-technica.co.jp

232305330-01-02
ver.1　2016.01.15
ver.2　2019.05.15